

令和7年度 2次募集選抜・評価方法

学校番号 92

千葉県立東総工業高等学校 全日制の課程
電子機械科・電気科・情報技術科・建設科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：10分
(3) 適性検査	志願する学科の学習に必要な適性をみる検査 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔185点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	調査書の評定の全学年の合計値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において10日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1個以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録	学級活動・生徒会活動・学校行事・部活動・資格取得、その他の活動で積極的に取り組んだと認められる場合については50点を上限として加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔60点満点〕

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを5点、bを3点、cを1点とし、3名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。評価cが1つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
エ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が、身に付いている。

(3) 適性検査〔80点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき a (優れている)・b (標準的である)・c (問題がある)の3段階で評価する。

aを10点、bを6点、cを3点とし、2名の評価者の評価(各40点満点)を合計し、得点化する。評価cが1つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
(ア) 知識	基礎的な知識をもとに課題を理解し取り組んでいる。
(イ) 意欲	意欲を持って取り組む姿勢がみられる。
(ウ) 技術	基礎的な技術を身に付けている。
(エ) 表現力	基礎的な表現力を身に付けている。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「適性検査の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点		面接の得点	適性検査の得点	総得点
評定	加点			
135点	50点	60点	80点	325点

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。